

出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要		
第1章 砂防堤	第3節 製作節工	1-3-4 鋼製堰堤仮設材製作工	部材 部材長 $\ell$ (m)	$\pm 3 \cdots \cdots$ $\ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \cdots$ $\ell > 10$	図面の寸法表示箇所、任意の部分 を測定。		規格値の $\ell$ に代入する数 値はm単位の 数値	
	第8節 コンクリート 堰堤工	1-8-4 コンクリート堰堤本 体工 コンクリート副堰堤工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の寸法表示箇所、任意の部分 を測定。			
			天端部 $w_1, w_3$ 堤幅 $w_2$	-30				
水通しの幅 $\ell_1, \ell_2$	$\pm 50$							
堤長 $L_1, L_2$	-100							
第8節 コンクリート 堰堤工	1-8-6 コンクリート側壁工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の寸法表示箇所、任意の部分 を測定。 長さは、天端中心線の水平延長、又は、 測点に直角な水平延長を測定。				
		幅 $w_1, w_2$	-30					
	長さ $L$	-100						
第8節 コンクリート 堰堤工	1-8-8 水叩工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の寸法表示箇所、任意の部分 を測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。				
		幅 $w$	-100					
厚さ $t$	-30							
延長 $L$	-100							
第9節 鋼製堰堤工	1-9-5 鋼製堰堤本 体工 (不透過型)	水 通 部	提 高 $\nabla$	$\pm 50$	図面の寸法表示箇所、任意の部分 を測定。 ダブルウォール構造の場合は、堤高、 幅、袖高は十の規格値は適用しない。			
			長さ $\ell_1, \ell_2$	$\pm 100$				
			幅 $w_1, w_2$	$\pm 50$				
		下流側倒れ $\Delta$	$\pm 0.02H_1$					
		袖 部	袖 高 $\nabla$	$\pm 50$				
	幅 $w_2$		$\pm 50$					
	鋼製堰堤本 体工 (透過型)	堤長 $L$	$\pm 50$	図面の寸法表示箇所、任意の部分 を測定。		格: 格子型鋼 製砂防ダム A: 鋼製スリ ットダム A 型 B: 鋼製スリ ットダム B 型 L: 鋼製スリ ットダム L 型		
		堤長 $\ell$	$\pm 10$					
		格・B・L 格	$\pm 30$					
		堤幅 $w$ 格A・B・L	$\pm 10$					
高さ $H$ 格A・B・L		$\pm 10$						
1-9-6 鋼製側壁工	堤 高 $\nabla$	長 度 $L$	幅 $w_1, w_2$	下流側倒れ $\Delta$	高 さ $h$			
								$\pm 50$
								$\pm 100$
								$\pm 50$
								$\pm 0.02H$
$h < 3m$	-50							
$h \geq 3m$	-100							
第2章 流路	第5節 床面め工	2-5-8 魚道工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	施工延長100mにつき1箇所以上測定。 製品使用の場合の製品寸法は、規格証 明書等による。			
			幅 $w$	-30				
高 さ $h_1, h_2$	-30							
厚 さ $t_1, t_2$	-20							
延 長 $L$	-200							

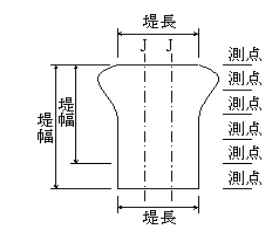
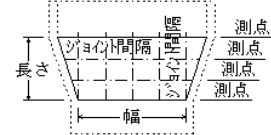
出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第3章 第6節 斜面対策	3-6-4 山腹明暗渠工	基準高 $\nabla$	±30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。 なお製品使用の場合は、規格証明書等による。		
		厚さ $t_1, t_2$	-20			
		幅 $w$	-30			
		幅 $w_1, w_2$	-50			
		高さ $h_1, h_2$	-30			
		深さ $h_3$	-30			
		延長 $L$	-200			
第7節 地下水排除工	3-7-4 集排水ボーリング工	削孔深さ $\theta$	設計値以上	5本につき1箇所以上測定。		
		配置誤差 $d$	100			
		せん孔方向 $\theta$	±2.5度			
第9節 杭工	3-7-5 集水井工	基準高 $\nabla$	±50	5本につき1箇所以上測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。		
		偏心量 $d$	150			
		長さ $L$	-100			
		巻立て幅 $w$	-50			
		巻立て厚さ $t$	-30			
第9節 杭工	3-9-6 合成杭工	基準高 $\nabla$	±50	10本につき1箇所以上測定。		
		偏心量 $d$	D/4以内 かつ100以内			

出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第1章 第4節 コンクリートダム	1-4 コンクリートダム工 (本体)	天端高	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤高は、天端中心線延長を測定。 越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の 測定方法は、検査員の指示による。 監査廊の数高、幅、高さ、平坦性等の測 定方法は、検査員の指示による。		
		天端幅	±20			
		ジョイント間隔	±30			
		リフト高	±50			
		堤幅	-30, +50			
		堤長	-100			
	コンクリートダム工 (水叩)	天端高	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 幅は、図面の寸法表示箇所所で測定。 水叩の平坦性の測定は、検査員の指示 による。		
		ジョイント間隔	±30			
		幅	±40			
	コンクリートダム工 (副ダム)	天端高	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤長は、図面の寸法表示箇所所で測定。		
		ジョイント間隔	±30			
		リフト高	±50			
堤幅		-30, +50				
堤長		±40				

(注)1. j:ジョイント



J:ジョイント

出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
第1章 第4節 コンクリートダム	コンクリートダム工 (導流壁)	天端高	±30	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 長さは、天端中心線の水平延長又は、測 点に直角な水平延長を測定。			
		ジョイント間隔	±20				
		リフト高	±50				
		長さ	±100				
		厚さ	±20				
第2章 第3節 フィルダム	2-3-5	基準高	設計値以上	5測点につき1箇所以上測定。 ※外側境界線は標準機種(タンピング ローラ)の場合。			
		外側境界線	-0, +500				
	2-3-6	基準高	-0	5測点につき1箇所以上測定。			
		外側境界線	-0, +1000				
		盛立幅	-0, +1000				
	2-3-7	基準高	-100	5測点につき1箇所以上測定。			
		外側境界線	-0, +2000				
	2	フィルダム (洪水吐)	基準高	±20	図面の寸法表示箇所で、任意の部分 を測定。		
			ジョイント間隔	±30			
厚さ			±20				
幅			±40				
リフト高さ			±20				
長さ			±100				
第3章 第3節 基礎 グラウチング	ボーリング工	深さ	設計値以上	5本につき1箇所以上測定。 ※配置位置の規定は、コンクリート面で行 うカーテングラウトに適用する。			
		配置誤差	100				